

2020年1月15日発行

サポセン和歌山

更生保護サポートセンター和歌山：〒640-8157 和歌山市 8 番丁 4 ・ 八番丁館3階

発行責任者：
和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司

TEL：073-460-9298

FAX：073-425-1301

E-mail：saposen_w@ares.eonet.ne.jp

第
40
号

更生保護制度施行70周年記念和歌山県大会



更生保護制度施行70周年記念和歌山県大会が、令和元年10月29日に市民会館で開催され、各賞の授与式が行われた。受賞に先立ち「社会を明るくする運動」作文

コンテストにおいて小学校、中学校の部の最優秀賞作に輝いた2作品の朗読が行われた。また、記念講演の桂枝曾丸さんの落語では会場がおおいに盛り上がった。



▲熱演する桂 枝曾丸さん

記念講演では「社会を明るくする運動」で永年「社会を明るくする運動大使」を務める和歌山のおばちゃんこと、落語家の桂枝曾丸氏の「育て方・育てられ方」と題した講話に落語をはさみながら熱演。話術と話の内容に魅了された。

「社会を明るくする運動」作文コンテスト



智辯学園和歌山小学校 5 年生

末木 凜さん「心のバリア」

全国審査にて優秀賞に選ばれました

日本 BBS 連盟会長賞



近畿大学附属新宮中学校 3 年生

岡崎 凜太郎さん「やさしさ」

全国審査にて優秀賞に選ばれました

日本更生保護女性連盟会長賞

栄えある受賞者の皆様おめでとうございます

(敬称略)



〔瑞宝双光章〕 西村 順子 (西支部)

〔藍綬褒章〕 藤井 保夫 (北支部)

〔法務大臣表彰〕

上野 俊憲 (東支部)
秦 昭長 (東支部)
上川二三雄 (南支部)
木村 晶三 (南支部)

〔全国保護司連盟理事長表彰〕

中谷 武也 (東支部)
宮崎 大完 (東支部)
得津壽美代 (西支部)
三木 衛 (西支部)
渡辺 友子 (北支部)

〔全国保護司連盟理事長表彰 (家族功労)〕

玉井美代子 (東支部)

〔近畿地方更生保護委員会委員長表彰〕

角倉 耕一 (東支部)
中村 四郎 (東支部)
林 功 (東支部)
補陀 寛之 (東支部)
壬生 啓一 (東支部)
小林 勝司 (西支部)
中村 咲子 (西支部)
井上 節夫 (北支部)
榎本 貢 (北支部)
西本 憲夫 (北支部)

〔近畿保護司連盟会長表彰〕

小坂 千恵 (東支部)
野間 弓子 (東支部)
村瀬 一也 (東支部)
山崎 秀樹 (東支部)
楠本 眞司 (西支部)
河野 了 (西支部)
南出 博之 (西支部)
川端 久晴 (南支部)
辻本 朝治 (南支部)
今吉 あや (北支部)

堂阪 清 (北支部)
中谷 節子 (北支部)
本村 廣幸 (北支部)

〔近畿地方保護司連盟会長表彰 (家族功労)〕

松本香代子 (東支部)
武内 龍雄 (南支部)
畑口 仁美 (南支部)

〔和歌山県知事感謝状〕

乙井八重子 (東支部)
吉本 昌純 (東支部)
岩橋 利茂 (西支部)
海野 佳広 (西支部)
浦口 高典 (南支部)

〔和歌山保護観察所長表彰〕

北井 勝也 (東支部)
楠 太樹 (東支部)
白木 秀子 (東支部)
高倉 理行 (東支部)
田原 久一 (東支部)
玉井 康民 (東支部)
中居 純三 (東支部)
西中 康浩 (東支部)
山本 清美 (東支部)
山本 隆士 (西支部)
佐野 浩美 (南支部)
北本 一紀 (北支部)
栗本 博善 (北支部)
下岡 一夫 (北支部)

〔和歌山県保護司会連合会会長表彰〕

鈴木 啓司 (東支部)
中西 弘次 (東支部)
西川 綾子 (東支部)
波多野正蔵 (西支部)
藪 有子 (西支部)
岩本 章 (南支部)

“社会を明るくする運動” 作文コンテスト入賞者 (和歌山保護区)

最優秀賞	末木 凜	(智辯学園和歌山小学校 5年)	「心のバリア」
優秀賞	丸山 清良	(和歌山大学教育学部付属小学校 1年)	「あいさつってたいせつなんだね」
	山尾 真未	(和歌山市立東和中学校 3年)	「明るい心の輪を広げる」
県保連会長賞	井端 加奈	(和歌山県立向陽中学校 1年)	「地域のつながり」
県更女会長賞	中西 礼	(和歌山県立向陽中学校 1年)	「小さな運動」
県BBS会長賞	栗阪 典位	(開智中学校 3年)	「本心を汲み取ること」
審査員特別賞	井本 光咲	(和歌山県立向陽中学校 3年)	「電車の中をもっと明るく」



令和元年 11 月 16 日付けで委嘱された保護司



たなか しげはる
田中 茂治
東支部
三田校区
協力組織部

「辞令をいただき正直不安な気持ちですが、地域の方々に支えて頂きながら、精一杯頑張りたいと思います。」

令和元年 11 月 18 日和歌山保護観察所において保護司委嘱辞令伝達式及び新人保護司研修会が開催されました。

委嘱されたのは東支部 2 名、西支部 1 名、北支部 2 名の計 5 名で 11 月 16 日現在 和歌山保護区の保護司数は 198 名 で充足率は 93.8%となりました。



しちた ひとし
七田 均
北支部
楠見東校区
総務部

「SE 経験しかなく今は不安で一杯ですが保護観察者のスムーズな社会復帰に貢献できる、諸活動を通じスキル向上に努めます。」



きむら けいこ
木村 恵子
東支部
山東校区
犯罪予防活動部

「大任を受けて身の引き締まる思いです。人とのかわわりを大切に丁寧な対応を心掛けて参ります。ご指導の程よろしくお願い申し上げます。」



おかがいと ちよこ
岡垣内 千代
西支部
端正会
総務部

「更生をサポートするのは、重責に感じますが、不堯不屈・不屈精神で共に考え、後押しが一步となるよう支援していきたいと思っています。」



そのうち ひろき
園内 浩樹
北支部
貴志南校区
犯罪予防活動部

「公生私滅・滅私奉公を自分のモットーとして少しでも社会のお役に立てるよう保護司としての役割を果たしてまいる決意です。」

長い間ありがとうございました

令和元年 11 月 15 日付けでご退任となられた保護司

氏名	地区	初年度委嘱年月日	従事年数
中原 賢一	北支部	昭和 60 年 11 月 16 日	33 年
前 晴夫	東支部	平成 5 年 11 月 16 日	25 年
長濱ツヤ子	東支部	平成 7 年 11 月 16 日	23 年
秦 昭長	東支部	平成 11 年 11 月 16 日	19 年
宮所 俊次	南支部	平成 19 年 11 月 16 日	11 年
船所 宏行	西支部	平成 19 年 11 月 16 日	11 年

◆ 新任保護司座談会 ◆ 『新任さんいらっしゃ〜い!』

平成 28 年度に委嘱された保護司 6 名を対象とした新任保護司と企画調整保護司との座談会は令和元年 9 月 25 日と 11 月 13 日の 2 回に分けて行われました。

コーヒーやお菓子をつまみながら座談会は進み「借金をほのめかす対象者」「終了した対象者との関わり方」等の事例相談から「仕事と保護司活動の両立について」等話題は広範囲に広がりました。観察所に出向いて聞く程の事でもない「疑問」を聞くことができたとの新任さんの声と共に、新任さんの対象者と向き合う熱心な態度に「経験を盾に惰性で流していないか考えた。」との同席の企画調整保護司の声もありました。

(サポートセンター長 得津 壽美代 記)



第69回 “社会を明るくする運動”

作文コンテストの審査会

～小・中学校から1,233点の応募～

第69回『社会を明るくする運動』作文コンテストが本年も行われ、その第1次審査会が、去る9月17日更生保護サポートセンター和歌山において開催されました。

今回の応募には、小学校311点（昨年293点）中学校922点（昨年775点）と前年を上回る応募数となりました。

審査会には保護司会より21名、更生保護女性会から2名、BBS会から1名の方々が審査に当たられ、すべての作文に真剣に目を通し、いずれも素晴らしい作品内容で、頭を悩ませながら厳正な審査が終日行われました。

その結果、県の二次審査に小学校16点、中学校48点を推薦しました。

小・中学生のみなさん、たくさんの応募をいただきありがとうございました。

（南支部 大畑 千賀子 記）



令和元年度

三者合同研修会

令和元年度の和歌山保護司会、和歌山市更生保護女性会、和歌山協力雇用主会の三者合同研修会（9月5日、紀三井寺はやし）があり、岡田和也和歌山保護観察所長による『更生保護女性会の活動について』の講演を拝聴した。

そもそも、明治16年、児童・少年の健全な成長を見守る会として発足した女性会の活動が、大正14年には（財）少年保護婦人協会の創設となり、その活動が昭和24年以降少年から全世代に対象が広がられたこと、県内では昭和29年の各地区での地区会結成を経て、昭和32年に和歌山県更生保護婦人連合会が結成された経緯を学び、なんと、日本の近代化と同時に児童・少年の健全な成長、また、罪を犯した人々のリ・スタートに女性の皆さんが献身的に取り組み続けてきた歴史の重さに、勉強不足の私にとっては大変参考になった。

また、講演資料に掲載された、群馬県の地区更生保護女性会が取り組む母親が作った料理の味に家族の愛を思い出させる「おふくろの味」活動や、各分会長からの活動事例あるいは意見発表等には「人を思いやる心」の理念が活動を支えており、石谷更生保護女性会長の「社会の母たれ」とのお話に凝縮されていることを学んだ有意義な研修であった。

（北支部 藤井 保夫 記）



▲研修会の様子

岡田保護観察所長の話に聞き入っています。



▲▼懇親会の様子

▲石谷更生保護女性会長閉会の締めくくりで、「社会の母たれ」との挨拶をする。



～ 映画上映会に約 200 名が参加 ～

11月23日(土)ビッグホールにおいて、「ふれあい人権フェスタ2019」が開催された。更生保護関係6団体が、それぞれの任務を分担して映画会を行い、「認知症と向き合う」を上映した。一般来場者・関係者約200名が参加。映画は、認知症本人やその周りの人たちが、よりよく生きるためには何が必要かを考えさせられ、大変好評であった。帰りには障がい者施設特製のクリームパンが進呈された。

(東支部 中村 四郎 記)



▲まもなく始まる映画上映会にそなえて最終打合せ



▲小西会長の更生保護活動についての説明



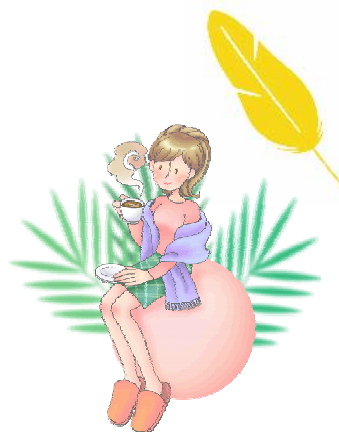
▲映画「認知症と向き合う」を鑑賞する参加者

第47回 和歌山県更生保護女性連盟 ブロック別研修会 中央ブロック別研修会

9月12日、河北コミュニティセンターにおいて令和最初のブロック別研修会を会員99名参加のもと開催いたしました。和歌山保護司会より小西会長、得津副会長、小川副会長、畑口副会長と和歌山保護観察所から岡田所長、豊島課長、津久田保護観察官のご臨席をたまり、本当にありがとうございました。

和歌山県子ども・女性・障がい者相談センター女性相談課主任奥田美和子氏より「子ども達を性暴力から守るために私たちができること」と題して講演をいただきました。「自分自身を大切にする事の重要さをみんなにわかってほしい。」とお話し下さいました。午後は「現代の家族をめぐる問題への更生保護女性会員としての関わり方について」の分科会を行いました。今後の活動にかかしていきたいと思います。

(更生保護女性会第1分会 河島 美幸 寄稿)



東支部県外研修報告



今年の県外研修は趣を変えて県内施設を見学先に選定しました。県内施設であることから「更生保護施設端正会・矯正施設和歌山刑務所の施設見学」組と「施設見学・社会資源研修・熊野古道・親睦会」組の2コースを設定しました。日程調整の不可能な方は初日の施設研修のみの参加となり、10月15日～16日で1日目は29名、2日目は24名、両日とも晴天に恵まれました。

端正会は大正2年10月に釈放者保護事業として開始され、昭和5年5月に和歌山市黒田に移転、昭和45年に改装。そして一昨年平成30年3月に新しいシステムを導入した新施設に全改築されました。特に防災対策の推進を図り地域の方々の信用と信頼の確保に努めていると感じました。

刑務所や少年院を出所しても社会復帰が困難な男子及び女子の双方を受け入れる全国でも数少ない

施設で、地域の方にも安心してもらえるよう11人の職員が24時間体制で支援している。入所後80%が就労し、雇用主の協力の必要性を感じました。また、福祉団体・医療機関そして何より地域の理解と協力があり社会復帰を支援し、再犯を防止するという重要な役割を担っている施設であると思いました。



和歌山刑務所は、女子受刑者を収容するところで、明治2年設置され、平成19年4月より組織改編に伴い、3拘置支所が大阪刑務所に移管されました。収容定員は500名で改善更生の意欲の喚起及

び社会生活に適應する能力の育成を図っています。

高齢の犯罪者及び無職が多く犯罪を繰り返しては逮捕、収監され刑務所で衣食住を満たすという負のスパイラルから抜け出せない受刑者が多いが、刑務所作業製品展示で販売している品が売れ、発注が入ると作業意欲に繋がっているとの事。作業報奨金は月3千円(平均)で釈放時に支給される。また、売り上げの一部は犯罪被害者支援団体の活動に助成されています。私たち研修者も数点購入し貢献させて頂きました。宿泊先のすさみ町「ベルヴェデーレ」では交流を深め24名が和気あいあいと過ごしコミュニケーションの輪を広げ、有意義な時間を過ごしました。

これからも真の更生保護活動を目指し、地域のために微力ながら活動を続けていきたいと思いました。

(西川 綾子 記)

北支部県外研修報告



10月23日(水)～24日(木)の2日間、県外研修を実施しました。参加人数は、直前で参加できなくなった方も居て、18名と例年よりやや少ない人数でした。

滋賀刑務所では、刑期10年未満、26歳以上の男子を収容しており、収容定員は706名という施設概要と、受刑者の生活、処遇などについてお話を伺いました。処遇に関してはいわゆる生産作業のみでなく、職業訓練、教科指導など出所後の安定生活に資する処遇に注力しており、情報処理教育では他の刑務所からの受講生も受け入れています。説明の後、施設内の居室(雑房/単房)・作業所・運動場・食

事・教科指導などの現場を案内して頂きました。見学後の質疑応答では、仮釈放出所者比率、単独室/雑居室入室の選択基準、食費と食事の工夫、カメラ監視のレベル、障がい者の問題、等々多岐にわたり活発な質問が出され、これに丁寧な回答・説明を頂きました。

刑務所が懲罰的施設ではなく、改善更生・再犯防止が重要と考えていることがよく理解出来ました。刑務所見学を終えてから北陸山中温泉まで足を伸ばし、おいしい食事に舌鼓を打ち、またカラオケにも興じながら楽しく懇親を深めました。

2日目は朝のうちに宿舎周辺の「鶴仙溪」を川沿いに歩き、自然を楽しむとともに山中温泉の街中散策でリフレッシュして、越前竹人形の里では芸術的な竹細工人形を見学、帰路に着きました。

(木綿 良介 記)



南支部県外研修報告



10月4日(金)社会資源研修で、神戸方面へ行ってきました。

南支部の研修は、保護司、家族、OB、更生保護女性会の皆様に協力頂き実施しています。



朝、紀三井寺を出発、車中でビデオ研修、白鶴酒造資料館、酒造り行程を見学、利き酒コーナーではおいしいお酒を頂き、のど越しもよくおいしくいただきました。



続いて、神戸市立小磯記念美術館で小磯良平作品の女性の美しさを描いた絵画を鑑賞し、昼食はもちろん中華コース料理を堪能しました。最後は北野工房、北野異人館、買い物と自由散策をしました。帰りは、ビデオ鑑賞「万引き家族」を見ながら帰ってきました。

天候にも恵まれ、楽しいひと時を過ごしました。

(畑口 道夫 記)

南支部定例研修報告

10月25日(金)午後3時から紀三井寺はやしにて、第2回定例研修を行いました。

研修内容は和田観察官による「保護観察経過報告書の書き方」と題しての講義を受けて、その内容の事例実習をするというものでした。

保護観察経過報告書は、保護司と保護観察官をつなぐ架け橋であるとともに、対象者に対して適切な処遇や措置、調整を検討するための重要な役割を果たします。

私自身保護司歴も浅く、2~3年対象者を担当していないため、報告書を見るのも久しぶりで、今までの書き方で間違っていたところ、未記入だったところが分かり大変勉強になりました。

又、保護観察を研修で学ぶのと実際に対象者の方と向き合うのでは思うようにいかず、柔軟な対応が必要とされることも理解できました。そのためにも、定例研修をおろそかにせず、又、経験豊かな先輩保護司さんから、しっかり学んでゆきたいと思います。

(中 智子 記)

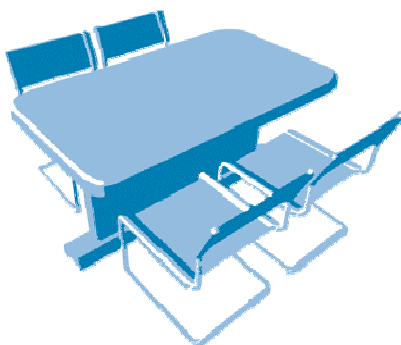
西支部定例研修報告

11月19日(火)保護観察所6階研修会議室にて第2期定例研修を行いました。

当日は和歌山地方検察庁から検察事務官が見学にくられ緊張の中始まりましたが、川瀬観察官「お約束」の奥様・子どもさんの近況報告が始まり、全員が和んだところで、研修課題「保護観察経過報告書の書き方」についての講義が始まりました。対象者の実情を正しく報告するためのノウハウを丁寧にご指導頂きました。

終了後「がんこ六三園」へ場所を変え、川瀬観察官を囲んで早めの忘年会を行い、プレゼント交換等愉快的ひと時を過ごしました。

(林 吉男 記)



サポートセンター和歌山 俳句教室作品

落葉踏む若きは若きの音なせり
境内のたこ焼き三舟買初めす
葉つき大根得した気分菜飯炊く
黄落のしきり小児科解体中
葉ぼたんの紅白映ゆる今朝の雨
小春日やひ孫が話す謎言葉
冬薔薇ひときわ目を引く白さかな

乙井 乾 杉谷 中村 大竹 得津 森
八重子 三子 睦 咲 有 壽美代 幸子

【俳句教室のお知らせ】

開催日：毎月第3水曜日
午前10時～

対象：更生保護関係者

新任・OB・OG
大歓迎！



大会宣言文

菊薫るこの佳き日、私たち和歌山県内の更生保護関係者一同は、ここ和歌山市民会館に相集い、来賓各位の御臨席の下、更生保護制度施行70周年記念和歌山県大会を開催しました。

近年、社会経済情勢が急激に変動する中、平成28年12月に再犯の防止等の推進に関する法律が施行され、同法に基づき平成29年12月には再犯防止推進計画が閣議決定され、また、各地方公共団体においても地方再犯防止推進計画の策定が進められるなど地域との更なる連携強化が求められているところです。

犯罪や非行をした人たちが地域で孤立することなく、再び社会を構成する一員となることができる「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、更生保護の果たす役割への期待はますます高まっています。

私たち更生保護に携わる者は、社会の期待に応えるために、その職責の重さを深く認識し、地域社会における人々とともに歩む更生保護の一層の推進を図ることが重要であると考えます。

令和という新たな時代の幕開けとなるこの記念すべき大会を契機として、私たちは、広く県民各層の御理解と御協力を得ながら、地域の関係機関・団体とのネットワークの構築を更に進め、県民一人ひとりが人間として尊重され、お互いに支え合う、安全・安心で夢と希望のある明るい和歌山県の実現に寄与することを誓います。

以上宣言します。

令和元年10月29日

更生保護制度施行70周年記念和歌山県大会



和歌山保護司会・各支部・各専門部の行事・定例研修会の予定

主催	行事名等	開催日	開催時間予定	開催場所予定
県連合会	和歌山県保護司会連合会正副会長会	3月18・19日	10:00～	和歌山保護観察所
観察所	和歌山県保護司等代表者会		13:00～	和歌山保護観察所
県連合会	県連合会理事会		15:00～	和歌山保護観察所
サポセン	県下サポートセンター運営協議会	1月23日	13:00～	海南市市民交流センター
保護司会	専門部会 総会	1月22日	15:30～	県民文化会館
	令和二年 和歌山保護司会新年会	1月22日	17:30～	アパローム紀ノ国
	4支部合同体験発表自主研修会	1月29日	13:30～	中央コミュニティセンター
東支部	第三期定例研修会【薬物事犯について】	2月21日	13:30～	ビッグ愛6階601号室
	役員会		研修終了後	
西支部	県外施設研修・社会資源研修	1月19・20日		浪速少年院他
	第三期定例研修会【薬物事犯について】	2月10日	13:30～	保護観察所6階
南支部	第三期定例研修会【薬物事犯について】	2月21日	13:30～	紀三井寺はやし
北支部	第三期定例研修会【薬物事犯について】	2月18日	13:30～	河北コミュニティセンター

定例研修は和歌山県下で統一したテーマにて研修しています。各所属の開催日にご都合のつかない方は他の支部でもご受講いただけます。詳しくは直接所属の支部長までお問い合わせください。

編集後記

明けましておめでとう
ございます。

昨年は更生保護制度七十周年という節目の年であり、天皇陛下が譲位され上皇陛下に、皇太子殿下が天皇陛下にと交代の年で有りました。元号も平成から令和に替わり、気分を一新されている方も多い事と思います。

さて、令和二年は干支では庚子かのねの年で、始まりの年でもあります。

真夏に開催のオリンピック・パラリンピックで和歌山県関係、日本の選手の活躍を期待したものです。

和歌山保護司会の皆様もお元気で御活躍されることを祈念します。

編集委員一同